

令和6年度子どもゆめ基金助成事業

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる
自己肯定感向上のあそびの体験交流」

報告書

虐待など家庭の様々な背景を抱えて児童福祉施設にいる子どもは、成長発達に必要な人とのふれあいや様々な体験の機会が少なく、将来への不安を抱えている。プロのパフォーマーによる本物の芸術にふれ、創造性豊かなアートを通して夢中にあそび、仲間と一緒にワクワクと楽しい時間を過ごすあそびと交流の体験を届け、互いに認め合う中で笑顔になり自己肯定感がはぐくまれ、次への希望や生きる力につながる。



主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102 号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

Email:kidchiba@lily.ocn.ne.jp URL <https://chiba.gekijou.org/>

後援：千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

ワーク実施一覧

	施設名	実施日時 実施場所	プログラム 指導者	指導者	協力者 ²⁴ +8	子ども	大人 +ボラ	参加総数	参加人数内訳
1	市川児童相談所	7月16日(水) 10:00~12:00 2F 講堂	「からだをつかっていっしょにあそぼう!」 大潤弘幸 井部直人 岡田泰子 清水百世	4	2	47	5	52	子ども47(幼児小学生 中学生) 大人5(課長1 保育士2 指導員2)
2	(社福)大成会 障害児入所施設 不二学園	8月6日(火) 13:30~15:30 食堂	「ダンスワーク」 安西真幸 安西千紗 白幡緑 太田貴子	4	3	33	5	38	子ども33(小学生2 中学生 高校生) 大人5(保育士5)
3	東上総児童相談所	8月7日(水) 13:30~15:30 多目的室	「君はこのなぞがとけるか?」 大森靖枝 棚田純子 清水百世 菅井里恵	4	3	24	3	27	子ども24(幼児3 小学生 14 中学6 高校生1) 大人3(施設職員3)
4	千葉県東部児童相談所	8月10日(火) 9:30~11:30 千葉県養護教育センター多目的室	「ダンスワークショップ」 安西真幸 北村典子 大塚るい 中村雪江	4	2	44	6	50	子ども44(小学生27 中学17) 大人6人(保育士3 指導員1 施設職員2)
5	(社福)鳳雄会児童養護施設 ほうゆう・キッズホーム	8月19日(月) 14:00~16:00 地域交流室	「アフリカの風を感じよう!」 當間典子 ダウディ 岡田泰子 宇野京子	4	4	15	5	20	子ども15(小学生11 中学生2 高校生2) 大人5(施設職員5)
6	(社福)児童愛護会 児童養護施設 一宮学園	9月14日(木) 13:00~15:00 多目的室	「こまあそびのたけちゃん がやってくる!」 こまのたけちゃん 棚田純子 宇野京子 滝口淳子	4	4	15	4	19	子ども15(小学 中学 高校) 大人4人(施設職員4)
7	君津児童相談所	9月17日(火) 13:30~15:30 2F 会議室	「君はこのなぞがとけるか?」 大森靖枝 買場都明 棚田純子 清水百世	4	2	22	7	29	子ども22(小学生16 中学生4 高校生2) 大人7(所長1 課長1 指導員5)
8	中央児童相談所	10月3日(火) 13:00~15:00 4F 多目的室	「人形劇&ワークショップであそぼ!」 納富俊郎 納富祥子 大森智恵子 中村幸恵	4	4	19	11	30	子ども19人(幼児17 高校2) 大人11人(保育士3 児童指導員7 ボランティア1)
9	(社福)一粒会児童養護施設 野の花の家	10月6日(日) 13:30~15:30 ホール	人形劇&ワークショップであそぼ!」 納富俊郎 納富祥子 棚田純子 白鳥みゆき	4	2	14	9	23	子ども14(小学生10 中学生4) 大人9(指導員3 保育士3 実習生1 職員1 ボランティア1)
10	柏児童相談所	10月9日(水) 13:30~15:30 ホール	「君はこのなぞがとけるのか?」 大森靖枝 中村幸恵 綿貫のぼら 宇野京子	4	2	17	5	22	子ども17(小学生17) 大人5(児童指導員3 実習生2)
11	(社福)恩籠園児童養護施設 恩籠園	10月27日(日) 13:30~15:30 地域交流スペース	「はじけておどろろ!」 Dance Dance Dance」 安西真幸 北村典子 宇野京子 大森智恵子	4	2	22	9	31	子ども22(幼児3 小学生11 中学生3 高校生5) 大人9(園長1 教師6 ボランティア2)
12	銚子児童相談所	11月15日(金) 13:30~15:30 2F 会議室	「見たことのない生き物を作ろう」 永野むつみ 大沢直 滝口淳子 綿貫のぼら	4	2	18	6	24	子ども18(幼児9 小学生9) 大人6(保育士2 児童指導員4)
				48	32	290	75	365	

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

からだをつかって いっしょにあそぼう!

2024年7月16日(火) 10:00~12:00
 市川児童相談所 2F 講堂

指導者: 大塚弘幸 井部直人 岡田孝子 清水百世

参加費無料 対象: 2歳~中学生 56人

2024年7月16日(火) 10:00~12:00
 市川児童相談所 2F 講堂

参加費無料 対象: 2歳~中学生 56人

大塚弘幸プロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

井部直人プロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

岡田孝子プロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

清水百世プロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

ダンスワークショップ

日時: 2024年8月6日(火) 13:30~15:30
 会場: 社会福祉法人大成会 不二学園 食堂ステージ

指導者: 安西真幸 安西千紗 白幡 緑 太田真子

参加費無料 対象: 小学生以上高校生まで 募集人数: 30人

ダンスワークショップ
 ダンスの楽しさを伝えるだけでなく、自分自身でダンスを楽しむための基礎知識や、ダンスの歴史や文化についても学びたい。ダンスの楽しさを伝えるだけでなく、自分自身でダンスを楽しむための基礎知識や、ダンスの歴史や文化についても学びたい。

参加費無料 対象: 小学生以上高校生まで 募集人数: 30人

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

ただ今子ども探偵募集中! 君はこのほぐりができるか? みんなで探偵遊びをしよう!

日時: 8月7日(水) 13:30~15:30
 会場: 東上総児童相談所 多目的室

指導者: 大森靖枝 棚田純子 清水百世 菅井里恵

募集人数: 20人 対象: 幼児~小学生・中学生 参加費無料

ただ今子ども探偵募集中!
 君はこのほぐりができるか? みんなで探偵遊びをしよう!

大森靖枝さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

棚田純子さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

清水百世さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

菅井里恵さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

アフリカの風を感じよう!

2024年8月19日(月) 14:00~16:00
 ほうゆう・キッズホーム 地域交流室

指導者: 齋岡典子 ダヴィデ 岡田孝子 宇野京子

参加費無料 対象: 幼児~小学生~中学生 募集人数: 15人

アフリカの風を感じよう!
 アフリカの音楽やダンスを通して、アフリカの文化や生活について学びたい。アフリカの音楽やダンスを通して、アフリカの文化や生活について学びたい。

参加費無料 対象: 幼児~小学生~中学生 募集人数: 15人

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

ダンスワークショップ

日時: 2024年8月10日(土) 9:30~11:30
 会場: 千葉市東部児童相談所養育教育センター多目的室

指導者: 安西真幸 北村典子 大塚いり 中村雪江

参加費無料 対象: 小学生~中学生 募集人数: 47人

ダンスワークショップ
 ダンスの楽しさを伝えるだけでなく、自分自身でダンスを楽しむための基礎知識や、ダンスの歴史や文化についても学びたい。ダンスの楽しさを伝えるだけでなく、自分自身でダンスを楽しむための基礎知識や、ダンスの歴史や文化についても学びたい。

参加費無料 対象: 小学生~中学生 募集人数: 47人

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

こまあそびのたけちゃんがやってくる!

日時: 2024年9月14日(土) 13:00~15:00 (受付12:30から)

会場: 茨城県庁 4F 1号室 保護室

参加費無料 対象: 小学生~中学生 募集人数: 47人

こまあそびのたけちゃんがやってくる!
 こまあそびのたけちゃんがやってくる!

大塚いりさんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

中村雪江さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

ただ今子ども探偵募集中! 君はこのほぐりができるか? みんなで探偵遊びをしよう!

日時: 9月17日(火) 13:30~15:30
 会場: 君津児童相談所 2F 会議室

指導者: 大森靖枝 賀場都明 棚田純子 清水百世

募集人数: 20人 対象: 5歳~小学生 参加費無料

ただ今子ども探偵募集中!
 君はこのほぐりができるか? みんなで探偵遊びをしよう!

大森靖枝さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

賀場都明さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

棚田純子さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

清水百世さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

人形劇&工作ワークショップであそぼう!

日時: 10月3日(木) 13:00~15:00
 会場: 中央児童相談所 4F 多目的室

指導者: 指原孝輔 指原 大森智恵子 中村幸恵

参加費無料 対象: 小学生以上高校生まで 募集人数: 20人

人形劇&工作ワークショップであそぼう!
 人形劇の楽しさを伝えるだけでなく、自分自身で人形劇を楽しむための基礎知識や、人形劇の歴史や文化についても学びたい。人形劇の楽しさを伝えるだけでなく、自分自身で人形劇を楽しむための基礎知識や、人形劇の歴史や文化についても学びたい。

参加費無料 対象: 小学生以上高校生まで 募集人数: 20人

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

人形劇&工作ワークショップであそぼう!

日時: 10月6日(日) 13:00~15:00
 会場: 野の花の家 プレイルーム

指導者: 指原孝輔 指原 大森智恵子 棚田純子 白鳥ゆき

参加費無料 対象: 小学生以上高校生まで 募集人数: 20人

人形劇&工作ワークショップであそぼう!
 人形劇の楽しさを伝えるだけでなく、自分自身で人形劇を楽しむための基礎知識や、人形劇の歴史や文化についても学びたい。人形劇の楽しさを伝えるだけでなく、自分自身で人形劇を楽しむための基礎知識や、人形劇の歴史や文化についても学びたい。

参加費無料 対象: 小学生以上高校生まで 募集人数: 20人

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

ただ今子ども探偵募集中! 君はこのほぐりができるか? みんなで探偵遊びをしよう!

日時: 10月9日(水) 13:30~15:30
 会場: 柏児童相談所 2F ホール&所庭

指導者: 大森靖枝 中村幸恵 指原のばら 宇野京子

募集人数: 20人 対象: 5歳~小学生 参加費無料

ただ今子ども探偵募集中!
 君はこのほぐりができるか? みんなで探偵遊びをしよう!

大森靖枝さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

中村幸恵さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

指原のばらさんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

宇野京子さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

はじけておどろろ! Dance Dance Dance

日時: 2024年10月13日(日) 13:30~15:30
 会場: おんちよう園 1F 地域交流スペース

指導者: 安西真幸 北村典子 宇野京子 大森智恵子

参加費無料 対象: 小学生~中学生 募集人数: 20人

はじけておどろろ! Dance Dance Dance
 ダンスの楽しさを伝えるだけでなく、自分自身でダンスを楽しむための基礎知識や、ダンスの歴史や文化についても学びたい。ダンスの楽しさを伝えるだけでなく、自分自身でダンスを楽しむための基礎知識や、ダンスの歴史や文化についても学びたい。

参加費無料 対象: 小学生~中学生 募集人数: 20人

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

「児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる自立支援活動のあそびの体験交流」
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流

見たこともない生き物をつくるよ!

2024年11月15日(金) 13:30~15:30
 会場: 銚子児童相談所 2階会議室

指導者: 永野むつみ 大塚 純真のばら 青口孝子

参加費無料 対象: 小学生~中学生 募集人数: 15人

見たこともない生き物をつくるよ!
 見たこともない生き物をつくるよ!

大塚純真のばらさんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

青口孝子さんプロフィール
 児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。児童福祉施設生活者による自立支援活動のあそびの体験交流の指導者として活動中。

主催: 関いりむね・申し込み: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒206-0002 千葉県市川市東新町17-17 TEL: 0476-321-1111 FAX: 0476-321-1112
 E-mail: info@kumagata.or.jp URL: http://kumagata.or.jp/

1. 市川児童相談所「からだをつかっていっしょにあそぼう」

日時：2024年7月16日（金）10:00～12:00
 場所：2F 講堂
 参加者 52人
 （子ども47人 施設職員5人）
 指導者：大潤弘幸 井部直人 岡田泰子 清水百世

ワークショップの内容

コミュニケーションゲーム（いろおに座り方あそび 震源地は誰だ なりきりかくれんぼ） むかしあそび（紙コップけん玉工作 こままわし）



大潤さん「あそびます！」で始まり。色鬼のお題を探して走り回り「あった！」「つかまえた！」と、大きい子、小さい子が混ざり合って教えあったりと集団が一つになった。なりきりかくれんぼは、大潤さんが「どれどれ！」「アッこんなどころに！アハハ！」と反応すると、「みてみて！見つけて！」という雰囲気です。解説してもらって誇らげだ。震源地、男女全員の輪「こんな人数初めて」と幼児リーダーで練習。女子がリーダーの時大潤さんが鬼で苦戦、リーダーは得意そう。「くさいくさいのポーズ？おならしてないよ、足かなあ」と大潤さんのつぶやきに全員爆笑、にこにこあそびに浸っていた。なかなかあてられなくても、相談しあい、みんなを真剣に見つめて真面目な中三、とてもうれしそう。しっぽとりは白熱2回



子どもの声

・久しぶりに色鬼や、こまをやり楽しかった。いろんな人（みんな）とやる事で気分転換にもなった。
 ・こまのやりかたにくせんした。けどたのしかった。紙コップでけん玉っていうのはそう力がおもしろかった。全部すごく楽しかった！またやりたいです！
 ・「すごいきれいに、まわったね。」と言って写真をとった。うれしかったです。

施設関係者の声

・子どもをありのまま認めてもらえる、笑い合える良い機会になった。
 ・男女一緒に運動をすることが少ないので、幼児～中学生まで遊べる雰囲気や環境が良かった。いつもは消極的な児童が、目を輝かせて、積極的に動いていてよかった。
 ・大潤さんの表情、メリハリのある声かけは、あんなに大人数の児童の中でも子ども一人一人に届いていくのだなあ、と子どものアンケートを読んで感じた。ありがとうございました。



2. (社福)大成会障害児入所施設 不二学園「ダンスワークショップ」

日時：2024年8月6日（水）13:30～15:30
 場所：食堂
 参加者 38人
 （子ども33人 病院関係者5人）
 指導者：安西真幸 安西千紗 白幡緑 太田貴子

ワークショップの内容

簡単ストレッチ・曲をきいて体を動かしてみよう「強風オールバック」「プリンバンバン」「はいよろこんで」「ジャンボリーミッキー」他・発



準備運動のストレッチ、「いててて」と言いながら柔軟した。「強風オールバック」の時、ランドセルとか笛を吹く振りで踊ったら、小学生が部屋に戻りランドセルと笛を持ってきてルンルンで踊り、自発的により楽しもうとする姿に驚いた。言葉をよく話せない子に声かけして一緒に楽しんだら、自らスタッフの手を持って楽しさを爆発させていた。ダンスが好きな子は2時間おどりっぱなし、ずっと椅子に座っている子もいたが、手拍子や手でダンスをしていた。高校生男子も椅子に座って見ているが、指導者の声掛けで発表の時最後に出てきた。ノリノリで踊りまくる子と、座って見ている子、みんなを見ながらスタッフにちょっかい出してかまってもらっている子など様々な表現をしていたがどの子もリラックスして笑顔がみられた。



子どもの声

・楽しかったのでまたやりたい。
 ・ダンスは好きで自分の趣味の1つだったのですが、皆の前だと恥ずかしくて手だけで踊ったりした。でも本当にワークショップをやれてよかったし次回も開催してほしいと思った。ワークショップを通して学べたこともあった。
 ・曲が聞いたことある曲なので楽しかった。
 ・気分が良かった。

施設関係者の声

・椅子に座っていても楽しんでいたはず。
 ・ずーと踊っている子がいてびっくりした。
 ・集中力にける子、消極的な子、聞く力が弱く指示に従って動くことが苦手な子、注意を受けやすい子、色々な課題がある子達であるが、指導者の「一緒に楽しもう」という思いが子どもたちに伝わり、主体的に動く姿



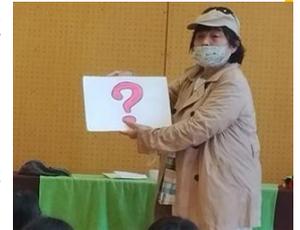
3. 東上総児童相談所「君はこのなぞがとけるか？」

日時：2024年8月7日（水）13:30～15:30
 場所：多目的室
 参加者 27人
 （子ども24人 施設職員3人）
 指導者：大森靖枝 棚田純子 清水百世 菅井里恵

ワークショップの内容

からだほぐし(手をたたく・たたかない他) 探偵3人組「目、耳、頭の修行」 体をきたえる 部屋の中を探そう(顔の形のもの)暗号で探し物を見つける シーグラスプレゼント

ラップとピアノの音で指導者が登場、子どもたちは何だろうと興味津々。後ろ向きの4人がジャンと前を向くとサングラス、ハンチング姿の探偵に子どもたちは大喜び。からだほぐしがさらに緊張を取り除き、おーちゃんのフェイントに引っかかって笑い声がおきた。「ね～、たんでいって何する人？」に「事件とか解決する」「世界を幸せにする」「忘れ物を発見する」「暗号を使う」元気に答えた。「そうだね～、うんいいね、なるほど…」どの声にも共感的な相づちを打つ。「たんでいは目でよく見て、耳でよく聞き、頭でよく考え、心で感じる」と、心構えの伝授を受けて修行。口パクあて、やりたい子どもたちが前に出て口パク。小学生「からあげ」高校生「なし」小男子「かつ」小女子「もも」つい、言葉を発してしまった男子。少しきまり悪そうにしていたが、おーちゃんのフォローでもう一度やってみる、結果笑顔だった。暗号を解いて落とし物を見発!



子どもの声

・おーちゃんとあそんでとてもたのしかったです。
 ・くちばくがたのしかった。くいずがたのしかった。
 ・最初は、どんなことをするのか、とてもドキドキだった。でも最後の方で、体をうごかしたり、なぞときが入って面白かったし、もらったシーグラスもきれいでうれしかった。またやりたい。

施設関係者の声

・小学生は「探偵とのなぞ解き」という設定に入り込み、課題解決や修行の場面で自分の意見を伝えたり、課題に挑戦したりという姿がみられ“ごっこ”を楽しみながら活動できていた。



4. 千葉市東部児童相談所「ダンスワークショップ」

日時：2024年8月10日（土）9:30～11:30
 場所：千葉市養護教育センター多目的室
 参加者 50人
 （子ども44人 施設職員6人）
 指導者：安西真幸 北村典子 大塚るい 中村雪江

ワークショップの内容

(ストレッチ・よつんばいになって走る。皆で手をつなぎゴロンと転がり起きる) 強風オールバック、はいよろこんで。ジャンボリーミッキー等

準備体操で横一列に手をつなぎ「イッセーのセ」でゴロンとなり反動で立ち上がるのは、全員が気持ちを合わせないと立ち上がれない。一生懸命チャレンジして立ち上がった時の表情はやったあ！という感じだ。曲が流れると体が動く小学生の集団。指導者まあちゃんは、その小学生の振りを「教えて」と教えてもらい、「いただき」で取り入れた。ウォークの技の上手い男子、年下の子たちが羨望のまなざしで、教えてもらっていた。全員が自分なりに踊り、関りを持って全体の調和がとれ、男子のエネルギーとパワーであふれていた。中にはあまりダンスがしたくない子もいたが、ここに参加しているだけでも、何か感じることもあったと思う。まあちゃんと一緒に踊り、終了後部屋に帰る子どもたちの顔がイキイキしていた。

子どもの声

・色々なダンスを知れて楽しかった。みんなでダンスをする機会があまりなかったので嬉しかった。休憩時間にブレイクダンス踊った
 ・今の時代に合った曲が流れていて、だれでもわかるダンスで良かった。またやりたい。
 ・ダンスで気分転換ができたり、汗をこのような事でかくのは、久しぶりででした。
 ・あまり体を動かす時間がないので楽しかった。日常ではやらない動きをした事によって面白い気持ち良かった。

施設関係者の声

・夏休み中で外に出られない事や、人数が増えたことでストレス発散の機会が減っていた。体をいっぱい使って動いたことが、とてもよい発散になった。最初「今日はダンスです」と伝えた時「ええ～」と言っていた児も笑顔になっていた。
 ・ダンスに対して苦手な子も、実際にやってみて「楽しかった」「またやりたい」との声があり子どもたちにとって良い経験となった。



5. (社福)鳳雄会児童養護施設ほうゆう・キッズホーム「アフリカの風を感じよう！」

日時：2024年8月19日(月) 14:00~16:00

場所：地域交流室

参加者 20人

(子ども15人 施設関係者5人)

指導者：當間典子 ダウディ 岡田泰子 宇野京子

ワークショップの内容

手作り楽器づくり。アフリカの歌を聞く・手作り楽器で一緒に演奏。(ジャンボ・ライオンキングライオンは眠ってるコロリカタコロリ・アフリカ語のクイズ・太鼓ワーク・ダンス(キリンダンス))

手作り楽器(マラカス)は、その発想力の豊かさに驚いた。手足をつけたり、輪ゴムを切ってつけたり、「これ見て！」とスタッフに見せに来てくれる場面が多数あった。こうやりたい、これはどうしよう…と一生懸命だった。中高生は、ほとんど語らずやっていたが、本人の中にイメージがあるようだった。アフリカの曲に合わせ、自分で作ったマラカスで、リズムをとり、ノリノリで楽しんだ。アフリカの言葉を教えてもらい同じ言葉でも意味が違う面白さを感じた。クイズをして楽しんだ「こんばんは〜」はアフリカではどういう意味？三択から、手をあげる。「ここ、掃除してください」と聞くと驚いた様子だった。はじめて叩くアフリカの太鼓、始めはおっかなびっくりだったが、だんだん楽しめてきた。中高生の演奏がすばらしかった。全体的にのりがよかった。大きな声を出す子につられて周りも楽しそうだった。最後にダンスを教えてもらいみんなで思いっきり体を動かした。

子どもの声

- ・このような体験ができて良かった。別の国の音楽で元気が出てきて、とてもhappyになった。
- ・日本語と似ている言葉が多くて面白かった。マラカス作って楽しかった。ありがとうございました。
- ・太鼓をたたいたけど、手が痛かったです。最後踊りができたりマラカスを作れてうれしかった。
- ・ダウディさんが、太鼓をたたいている音がきれいでした。ダウディさんとゲーしたのが、うれしかった。またやりたい。

施設関係者の声

- ・毎回楽しいイベントを提案頂き、子どもたちも喜んでいました。ありがとうございました。
- ・子どもが楽しめていて、とても良かったと思いました。



2024年8月19日



2024年8月



2024年8月19日

6. (社福)児童愛護会児童養護施設一宮学園「こまのたけちゃんがやってくる！」

日時：2024年9月14日(土) 13:00 ~15:00

場所：多目的室

参加者 19人

(子ども15人 施設関係者4人)

指導者：こまのたけちゃん 棚田純子 滝口淳子 宇野京子

ワークショップの内容

・けん玉の技紹介(うぐいす、灯台、一番小さいけん玉 世界のけん玉 世界一周空中ブランコなど)・南京玉すだれ(釣り竿等)・皿回し・こまの紹介と実演

3人組の男子が一番に来て、一番前で待ちかねていた。けん玉の実演、一番小さいけん玉を出すと「うふふ・・・」と笑い声。かぶりつきの3人男子は大笑い。南京玉すだれ、「これはなんでしょう？」たけちゃんが聞くと「のりまき作るやつ！」と、すかさず答えみんなが笑った。こまの実演、線香花火、へび、扇子の技に感心「すげー！」。自分の持っているペーブレイドと「ペーこま」の対決がしたい！と言うと「後で勝負しよう！」とたけちゃんは否定しなかった。持ってきていいと言われ子どもたちの気持ちは絶好調。日本刀の上をこまが走る、「刀、本物？」「にせもの！」何回も掛け合いに。こまが日本刀の上を走るのをじっと見つめる。舌の上に載せて回し「マネしちゃだめだよ！」みんな啞然。みんなでこま回しに挑戦「ひも巻きがむずかしい！」と何度もやった。けん玉の上手な子が、膝に乗せてリフティングのようにけん玉をやり「やったー！」と満足そう。最後に庭に出て中国こまがどこまで高く飛ぶか、たけちゃんが放った中国こまは蒼い空に吸い込まれた。

子どもの声

- ・まだしらなかったおもちゃをやったのしかった。けん玉でサッカーをしておもしろかった。小学生の頃よくやっていた。むずかしかった。
- ・色々学べてよかった。こまが丸くてもつのがむずかしかったけどまわせてよかった。けん玉がたのしかった。たけちゃんがおもしろかった。また、やりたい。

施設関係者の声

- ・集中して頑張っていました。いろいろな大人に出会い、フォローしてもらいながら自分の気持ちや、やりたいことを表現していくことは大事な経験だと思います。



2024



2024年9月14日



2024年9月14日

7. 君津児童相談所「君はこのなぞがとけるか？」

日時：2024年9月17日（火）13:30～15:30

場所：2F 会議室

参加者 29人

（子ども22人 施設関係者7人）

指導者：大森靖枝 買場都明 棚田純子 清水百世

ワークショップの内容

拍手のまねっこ 探偵修行(目の修行 耳の修行 口よみ修行 あつまれ修行 心の修行)昭和のもの当て紙芝居 チームで考える 守っているもの探す カードの暗号

おーちゃんのつかみの拍手のアイスブレイクに、笑い声が起こる。失敗しても大丈夫、面白いが1番という雰囲気広がる。指導員の先生が探偵に扮して登場、とたんに体が緩み、笑顔になり歓声があがった。探偵の4つの心得「自分の目でよく見る！自分の耳で、よく聞く！自分の頭でよく考える！自分の心でよく感じる！」が伝授。目の修行のサインペン隠しで盛り上がり、あつまれ修行で、男子は跳ねるものやへびに変身して集まった。石や花にも変身。チームで考え発表する修行は、頭を寄せあって協力し真剣に作戦を練り、堂々とみんなの前で表現。暗号探しと謎解、積極的に手を挙げてみんなに説明する子もいて、ワイワイがやがや謎を解いた。「黒いカバンをさがせ」と、暗号が解読されるや否や、黒いかばんを探しに走った。カバンの中には素敵なプレゼントが入っていた。最後までごっこ遊びで、自由に自分を表現すること、仲間と関わり合う楽しんでいた。



子どもの声

- ・つかれたけど、やっている最中はむちゅうになった。おーちゃんのつかみがおもしろかった。
- ・みんなとワークショップができて楽しかった。なぞときなど、ちょうどいいなんいどでした。
- ・おーちゃんがすごい元気で、表情がすごく豊かだった。いつものとちがって新鮮だった。

施設関係者の声

- ・今日はのびのびとやれて、楽しそうだった。幸せな時間だった。意見を言ってもいいんだとか、体で表現することが楽しいということがわかったと思う。
- ・日常ストレスで小さいいざこざがたくさん、ワークはチームワークよくできた。すごい！



8. 中央児童相談所「人形劇&工作ワークショップであそぼう！」

日時：2024年10月3日（木）13:00～15:00

場所：4F 多目的室

参加者 30人

（子ども19人 施設関係者10人 ボランティア1人）

指導者：納富俊郎 納富祥子 大森智恵子 中村幸恵

ワークショップの内容

・スーパー人形劇 ・赤ずきんちゃん ・おじいさん ・工作「パタパタちようちよ」 ・コップンコ劇場/「こぶた、たぬき、きつね、ねこ」体験

「スーパー人形劇」：これは何？スーパー袋がでてきて、タヌキ、オオカミ、ネコ、魔法使いなどに変化！「すごい！」。赤ずきんちゃん：みんなが知っているお話とは少し違う内容で舞台そのものが動き回り変化する。オオカミが子どもに「赤ずきんちゃんはどこにいる？」と聞くと「下にいるよ」の声。狩人がオオカミの大きなお腹をみて、「だれを食べちゃったんですか？」と聞くと「赤ずきんちゃんとおばあちゃん」と大きな声で答えた。オオカミのお腹をハサミで切る時もみんなも指で「チョキ、チョキ」。最後に「またねー」とオオカミが言うと「またこないでね～」と子どもらしい反応で楽しんでた。パタパタちようちよ工作、色や道具選びに迷うことなく、即決の子が多かった。ちようちよを2つ、3つと楽しんで作った。「こぶた、たぬき、キツネ、ネコ」コップンコ劇場では4人ずつ女子高校生2人を除いて全員が体験できて、満足そうな表情だった。



子どもの声

- ・ビニール袋で案外たくさんものが作れるなんて、すごいなあと思った。
- ・赤ずきんちゃんは、1人で役を演じて、絵本どおりじゃなく、たくさんおもしろいくおかしく工夫をしているんだなと思った。保育士を目指している私としては、有意義な時間だった。

施設関係者の声

- ・声を出して笑っていた子どもが多くいた。普段集中することが難しい子も、しっかり座って楽しんでいた。
- ・パフォーマーの表現が豊かで、子どもたちの反応に合わせて臨機応援に変化して演じていた。



9. (社福)一粒会児童養護施設野の花の家「人形劇&工作ワークショップであそぼ！」

日時：2024年10月6日(日) 13:00~15:00

場所：プレイルーム

参加者 23人

(子ども14 施設関係者8人 ボランティア1人)

指導者：納富俊郎 納富祥子 棚田純子 白鳥みゆき

ワークショップの内容

スーパー人形劇 演じてみよう

「こぶた・たぬき・きつね・ねこ」

工作「ばたばたちょうちょ」

「スーパー人形劇」は、スーパーの袋に空気を吹き込み、トークしながら耳、鼻、口を形づくりながら次々に動物をつくる、ちょっとシュールな人形劇だ。子どもたちは、半分あつけにとられたように、じーっと見ていた。

パタパタちょうちょ工作は、たくさんのカラフルな材料の中から好きな色を選んだ。型紙から作る子、自分で描く子、シールを貼ったり、穴あけパンチで穴を開けたりと、選択肢がたくさんあるのを迷いながら選んでいた。怪獣を作りたい子は、かなり悩んでいた。ちょうちょでなく、頭が大きい鳥をモデルにして顔を怪獣にしようというイメージしたようで、チャレンジだった。終了時間が迫るなか、納富さんが顔を描くことを手伝い、とても迫力あるブルーの怪獣ができ、とても満足そうだった。

子どもの声

- ・ちょうちょをつくるのがたのしかった
- ・すごかった。にんぎょうげきがおもしろかった。こうさくがむずかしかった。またきてください
- ・あかずきんがおもしろかった
- ・おおかみがおもしろかった。
- ・めっちゃたのしかった。またこんどもやりたいです
- ・たのしかった。またやりたい

施設関係者の声

- ・とてもおもしろい赤ずきんちゃん、沢山笑っている姿がみられて嬉しかったです。子どもたちが自然と発言している姿も見られて良かったです。
- ・プログラムの間中笑顔がみられ、自分から自然と声を発していた。「もっとやりたい。もっと作りたい」という言葉が沢山聞かれていた。
- ・どもたちを惹きつけたりその世界に引き込む技術があり、いつもは集中できない子どもも、2時間最後まで集中して楽しんでいました



10. 柏児童相談所「君はこのなぞがとけるか？」

日時：2024年10月9日(水) 13:30 ~15:30

場所：ホール

参加者 22人

(子ども17人 施設関係者5人)

指導者：大森靖枝 中村幸恵 綿貫のぼら 宇野京子

ワークショップの内容

・導入の手あそび・探偵修行(目の修行 耳の修行 昭和の紙芝居でクイズ/頭の修行「ワッフルたべたい」心の修行)・暗号を解く・修了書の

子どもたちは張り切って入場。手をたたき、たたかないなど導入から中高学年の男子がムードメーカーになった。変身したおーちゃん探偵とヒゲのアシスタント2人が「探偵です！」と登場すると歓声があがった。昭和のグッズの紙芝居クイズに、「かまど!」、「洗濯板!」と答え、探偵がビックリして「良く知ってるね〜」と聞くと、「お泊り合宿で行ったから」と答えた。「ワッフル」はジェスチャーゲーム、男女に分かれ相談し「サシミ」「スイカ」「ブドウ」を考え、代表が前にでてフリを見せた。答えを言う声が自慢げだった。数字暗号、12進法を思い当たったのか「時計か?」。スタッフが持っていた時計の絵を、「ちょっと待て!それ貸せよ!」と言ってきた。あっという間に数字を言葉に置き換え「クロイカバン」を見つけた。数字を並べ替える時に「どらえもん力!」と言ったり、軽口でワクワクしているようだった。修了書を1人ずつもらい、とても嬉しそうだった。

子どもの声

- ・おもしろかった(2人)・たのしかった(2人)
- ・かばんを見つけるのがむずかしかった。
- ・みんなげんきにやっておもしろかった
- ・名たんていにもなれたし、すごうれしかった。またやりたいです。
- ・たのしいので、ちがうのでも同じのでもいいのでやってほしいです。ピアノもうまかったし、リコーダーもうまかったので、すごいなと思った。

施設関係者の声

- ・子どもたちは、雨で外で遊べないこともあり、今日はすごく楽しそうに参加していて、いつもでない面も見れてうれしい!
- ・誰かが埋もれることなく、個々が主体的に参加でき、楽しく取り組めた。
- ・普段の活動では見えない子供たちの笑顔や主体的な姿があった。なぞときの時に「わかった!」といった顔は自己肯定感につながっていると考えます。



11. (社福)恩寵園児童養護施設恩寵園 「はじけておどろろ!Dance Dance Dance」

日時：2024年10月13日(日) 13:30~15:30

場所：地域交流スペース

参加者 31人

(子ども22人 施設関係者7人 ボランティア2)

指導者：安西真幸 北村典子 宇野京子 大森智恵子

ワークショップの内容

体ほぐし 柔軟体操 手を繋いででんぐり返り 強風オールバック プリンパンパン はい、よろこんで TT アイドル ソーラン節 カンカンダンス I wander 青と夏 ジャンボリーミッキー

開始早々、幼児が喜び準備体操でぴよんぴよん跳ねたり、片足ケンケンに笑顔で参加し少し緊張気味の雰囲気のを和ませた。今回特徴的なのは、ダンスの好みが多様で自分に合ったダンスになると参加する、こだわりと主張を持つ子どもたちもかなりいたこと。Kポップが大好きな女子たちのリクエスト曲で、はにかみ気味に踊りみんなの応援にも嬉しそう。ダンスが得意でカッコよく踊る先生方数人が素晴らしいダンスパフォーマンス、子どもたちから喝采を受けた。「いいね！スゴイ！完璧！ありがとう！」とまあちゃんの褒め言葉が、子どもたちの心身をゆっくり解きほぐした。次々と曲を変えて振り付け、汗をかきながら子どもたちも踊りまくった。休憩時にまあちゃんと取り囲んでおしゃべりした。見学だけ 様子を見るだけと、会場に入ることを拒んでいた子どもたちが、いつの間にか全員が会場に入っていて、自分なりの参加で楽しんだ。



子どもの声

・たのしくて たのしくてとってもおどろきました。ありがとう！ダンス大好き！！
・わかりやすく教えてくれて、とてもちゃんとできました。また来年も来てほしいです。
・みんなでやる方があまりないので、うれしかったです。またできたらいいなと思います。

施設関係者の声

・ダンスを通して体を動かす楽しさや、他人と関わることで楽しさを味わうことができるように感じた
・動きの説明が小さい子にも理解できる表現で、うちの児童も分かりやすかったと思います。
・子どもの反応を見ていると、1回で終わりではなく、繰り返して実践していただいた方が良いでしょうに思いました。

12. 銚子児童相談所 「見たこともない生き物をつくろう！」

日時：2024年11月15日(金) 13:00~15:00

場所：2F 会議室

参加者 24人

(子ども18人 施設関係者6人)

指導者：永野むつみ 大沢直 滝口淳子 綿貫のぼら

ワークショップの内容

・3分間人形劇「ダンスが好きな女の子」好きな色の袋を選んで見たことのない生き物を作る・見せあひっこ

「今日は何色の気分？」「紫！ピンク」と声が上がった。紙切りで、女の子ができて一人の女の子が直ぐに反応し、声を出した。色紙が女の子6人になると笑顔がでた。封筒を遠慮がちに選んでいる。くしゃくしゃにするのをためらっている子。幼児の男の子は工作には手をつけず、シュレッターに集中。「どうやってやるの？」ときいてやり始めると、止まらなくなる。女の子たちは封筒に名前を書いたり、渡したりして楽しんでいた。「マフラーです」「タコ」と嬉しそうに説明してくれる。指導者からアドバイスをもらい、だんだん創作意欲がわいたのか様々な作品ができあがってきた。テーマは「弱肉強食！」と決めた男の子。いろいろ話している内に、笑顔が出ている。作品を見て嬉しそうに説明してくれた。それぞれ、気に入るところや名前を紹介しあう。ずっと席にいて恥ずかしがり屋の子も「サンバイザー」を作っていて最後は被ってみんなに見せてくれた。



子どもの声

・うれしかった。やれてよかった。/ たいけんできてよかった。
・さいしょは、ちょっとだけやりたくなかったけど、さいごまでやってみたら、やるきがでたし、たのしかったです。
・いがいとたのしかった。たくさんのおうぐがあったから、いろいろのどうぐにふれてうれしかった。

施設関係者の声

・子どもたち一人ひとりが笑顔で楽しく参加することができた。
・素材や道具がたくさんバリエーションがあり、子どもたちもおもしろい発想で製作していたことが印象的でした。
・プロの表現にふれた際の感動やおどろきの顔は普段みられないものだった。

今年度の取り組み経過概要

- ① コロナ禍から、家庭での虐待や保護を必要とする児童の増加がみられ、保護児童も増加傾向にある。施設での生活が、子どもたちの遊びや様々な人とのコミュニケーションの機会も制限したり、心身の発達への影響も危惧されたりとどの施設でも感じていて職員も苦勞されていた。企画の提案にとっても歓迎された。
- ② 当団体では感染防止対策のガイドラインを作成し、事業実施 7 日前から健康チェックシートで、指導者・スタッフの健康チェックをして臨んだ。また、施設の対応に沿って安心と安全を可能な限り保証することを心がけた。

事業の成果

- ① 普段の施設での生活の課題とニーズを把握し指導者を選び、プロのパフォーマーによる芸術的な遊びや交流体験ワークショップを提供した。予定通り、7 児童相談所 5 児童養護施設で計 12 回実施し、365 人（子ども 290 人 大人 75 人）が参加した。
- ② 参加した子どもたちは、たのしかった、おもしろかった、やれてよかった、うれしかった、きぶんがよかった、と、初めてやることにも積極的に参加し、楽しんだ様子がわかる。また、友達と協力したり、指導者とのふれあいでリラックスし思いっきり遊び、またやりたいとの声が多かった。
- ③ 施設職員は、普段あまり見られないような子どもたちの表情や笑顔が多く見られたことを一番に評価していた。そして、子どもたちのストレス発散や気分転換になった状態を感じていて、自分から主体的に行動している様子をとらえている。自分らしい表現に満足感達成感を感じていて、もっとやりたい意欲が高くなったととらえている。
- ④ プロのパフォーマーの指導者により、あっという間に楽しい空間に引き込まれる質の高いアート体験や遊びの交流の中で、子どもたちを丸ごと受け止める対応の言葉かけが、施設の職員にも評価され、気づきがたくさんあったようだ。自分の表現や反応を褒めてもらい子どもの表情がぱっと変わり、友達へのコミュニケーションにも広がり、自己肯定感につながった。プロの表現に触れたときの感動や驚きの顔は普段見られないものだった。
- ⑤ この事業では施設の担当者と指導者をつなぐコーディネーターの役割が重要である。丁寧な打ち合わせで子どもたちのニーズにあわせてプログラミングを心掛けた。今回、職員を巻き込んだプログラムは子どもたちにとっても盛り上がる演出になった。今後も、職員と一緒に作るプログラムにするのが良いと思った。当日は協力者も参加し、子ども達ひとりひとりとコミュニケーションをとり、全体の安全にも配慮していた。施設の信頼にもつながっている。

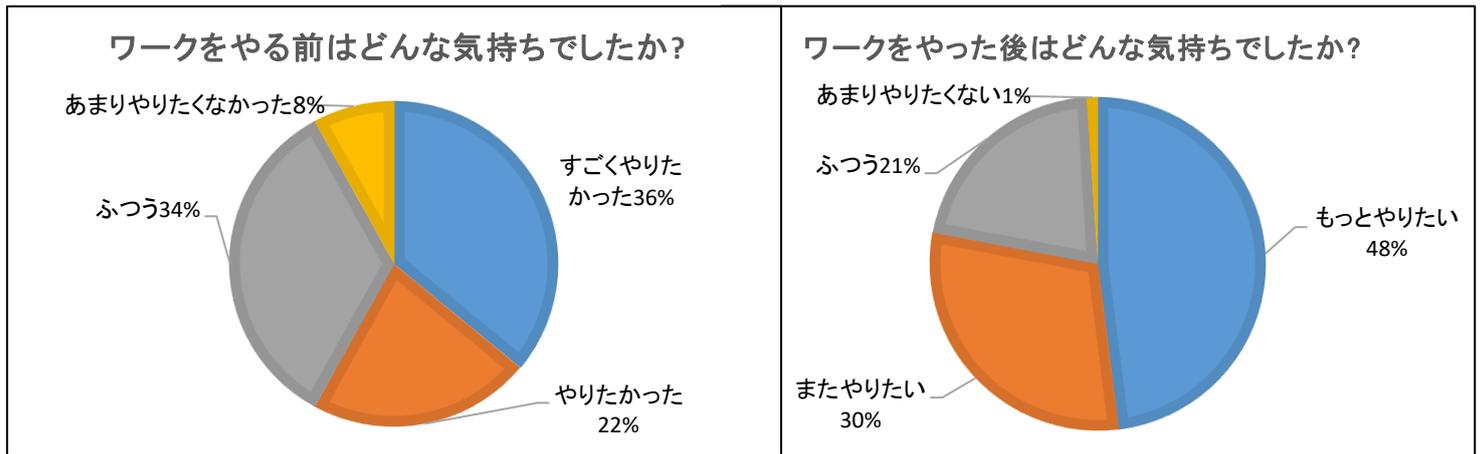
課題

どんな状況にある子どもにも芸術を通してあそび、体験の機会を絶やさないこの事業は、定期的な継続が必要である。「こども大綱」のこどもの遊び体験活動・ウェルビーイングの重要性を実現するために行政との連携が必要だと考え、提案書を作成し提案していく。



【コーディネーター】	市川淑江	宇野京子	越後久美子	大塚るい	大森智恵子	岡田泰子	恩田奈央子
	買場都明	加藤香都代	笠原直子	桑原信子	椎名好子	塩沢千秋	大山菜穂子
	清水百世	白鳥みゆき	白幡緑	鈴木佳子	高橋知子	滝口淳子	棚田純子
	中川香子	中村雪江	中村幸恵	早川良美	綿貫のぼら		

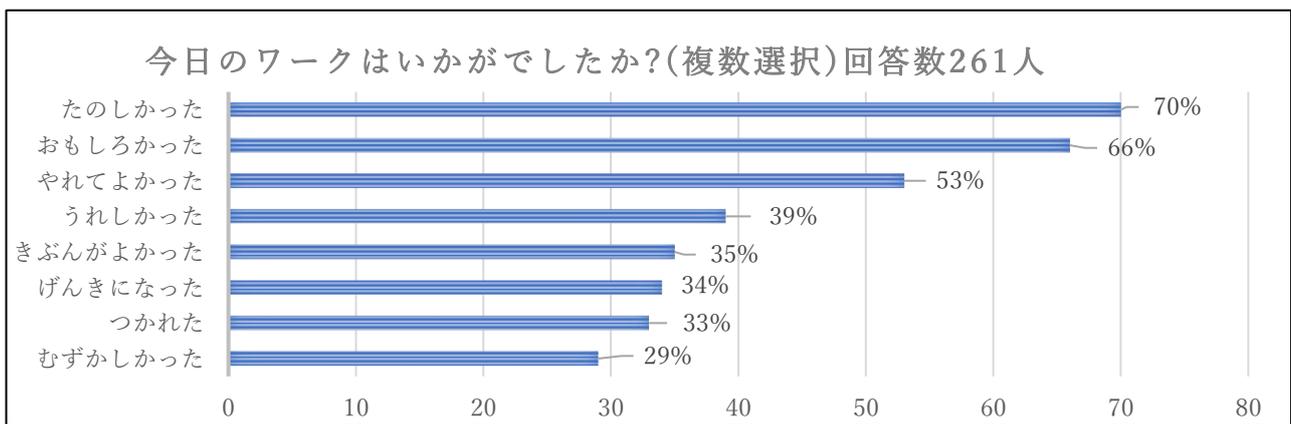
◆資料 1 子どものアンケートから見た子どもの気持ち (261 枚、アンケート回収率 90%)



「すごくやりたかった 36%」や「やりたかった 22%」と半分以上の子どもたちがワクワクしてワークショップを楽しみに待っていることがわかる。何をやるのかどんな人が来るのか、ドキドキしている子どもたちも多くいて、「ふつう」「あまりやりたくない」という気持ちの子も3分の1いた。

ワークショップをやったあとは、約80%の子どもが「もっとやりたい」「またやりたい」と、答えている。

「ふつう」と答えている子もいるが、みんな笑顔いっぱいになっていた。「あまりやりたくない」と、チェックした子も自由記述では楽しかったと書いていて、100%の子どもたちがそれぞれに楽しんでいた。

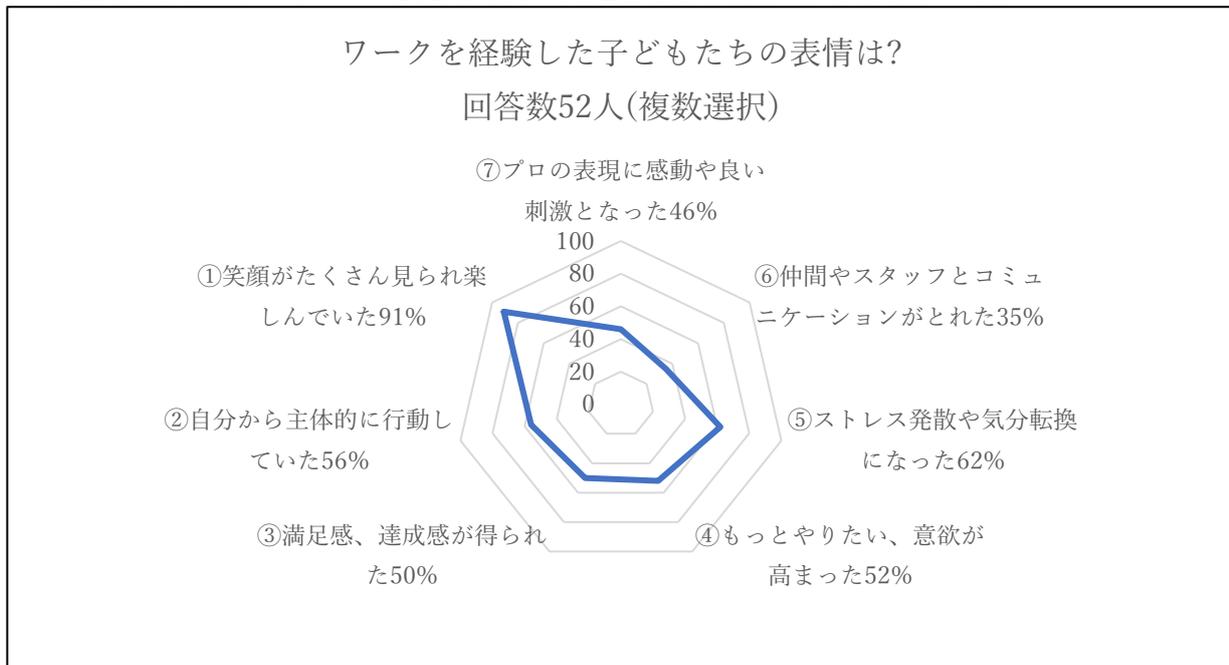


複数回答のアンケートで、「たのしかった」と70%の子どもたちが答えている。また、「たのしかった、おもしろかった、やれてよかった、うれしかった、きぶんがよかった、げんきになった」と、前向きな気持ちを占めており、この体験が子どもたちにとってどんなに楽しくうれしかったかが明らかである。積極的に参加した様子がわかり、QOLが高まったと言える。特に、「やれてよかった」の中には、みんなとやれてよかった、自分にもできてよかった等、様々な気持ちがあるようです。また、「疲れた、むずかしかった」は、完璧にやりたいくらい一生懸命にワークに取り組み、またやりたいにつながっている。

■アンケートの自由記述から

・わかりやすく教えてくれて、とてもちゃんとできた。また来年も来てほしいです。ダンス大好き!! /・みんなで作る方があまりないので、うれしかった。またできたらいいなと思う。 /・別の国の音楽で元気が出てきて、とても happy になった。 /・すごかった。にんぎょうげきがおもしろかった。工作がむずかしかった。またきてください。 /・おおかみがおもしろかった。 /・最初はできず、わかんなかったが、コツをつかみできるようになったり、大道芸の楽しさをしれた。 /・ちゅうごくこまができるようになった。 /・初めて運動をして気分良かった。 /・違う動きでダンスをしたい。創作ダンスをしたい。 /・おーちゃんが、みんなを楽しませていて、すごいと思ったし、何よりシーグラスをもらえて、うれしかった。 /・つかれたけど、やっている最中はむちゅうになった。 /・ぜんぶ楽しかった。また、やりたい。 /・自分で作ったり、みんなであそんだり久しぶりに昔の遊びをたくさんできて楽しかった。

◆資料2 施設関係者のアンケートから見えた自己肯定感を感じたところ(回答数 52 枚)



「笑顔がたくさん見られ楽しんでいて」と100%に近い方が回答している。ついで、「ストレス発散や気分転換になった」62%と高くなっていて、子どもたちの抱えている状況からストレスも大きく、ストレス発散や気分転換が、QOLの向上につながっている。「自分から主体的に行動していた56%」「もっとやりたい、意欲が高まった52%」「満足感、達成感が得られた50%」とほぼ同じくらい選択されている。「プロの表現に感動や良い刺激となった46%」もほぼ同数であった。

「子どもが笑顔」になることを大切に、プロの技にふれる芸術的なプログラムを楽しく体験したことで、主体的に行動し、前向きになれるQOLの向上や自己肯定感が高まったと、評価できる。

■芸術やあそびの専門性のある指導者の力、ここはプロだなと感じたところがありましたか?

- ・日々の出来事に追われ、子どもの表情を観察したり、声をかけてあげられることが少ない(反省も含め)、子どもをありのまま認めてもらえる機会、笑い合える良い機会になった。
- ・どの児童に対してもポジティブな声掛けをしていて、たくさん笑顔が見られた。
- ・「何?」ではなく、指導者が子どもが表現したことをほめているところが、参考になりました。
- ・子どもの興味、注意をひきつけるテクニック、子どもを飽きさせないきりかえしがすごいな、と感心させられました。

■この事業の成果や子どもの自己肯定感やQOL向上につながったと感じられましたか?それはどのようなことでしたか?

- ・普段の活動では見えない子供たちの笑顔や主体的な姿があった。なぞときの時に「わかった!」といった顔は自己肯定感につながっていると考えられる。
- ・座って手拍子している子どもやダンスを見ている子どもに「ありがとう、うれしかったよ」と伝えていたところ。上手だね、お手本見せてと楽しく踊る子どもに声をかけていて、子どもがうれしそうだった。
- ・あそびも児童の様子を見てルールを変えたり、と、工夫していたこと。乗り気でなかった児も、あそびの雰囲気を作ることで、全員が参加できていたこと。

■実施後感じられた、本事業へのご意見、今後のご要望、改善点などをお聞かせください。

- ・子どもの反応を見ていると、1回で終わりではなく、繰り返して実践していただいた方が良いように思いました。
- ・低学年、高学年、男子、女子などカテゴリーを細分化すればより関心を得られると思いました。
- ・年齢、男女を分けずに一緒にできたことはよかったです。
- ・改めて子どもの関わり方を学べたことが多くあり、定期的に行い、子どもはもちろんのこと、職員も学べる所がたくさんあるので、取り入れていきたいと感じました。

＜こども基本法 2023 年 4 月 1 日施行＞(一部抜粋)

こども基本法は、日本国憲法、児童の権利に関する条約（以下「こどもの権利条約 1」という。）の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す。

＜こども大綱の策定 2023 年 12 月 22 日 閣議決定＞(一部抜粋)

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約*の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」

～全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会～

1 ライフステージを通じた重要事項として

- (1) こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
- (2) 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり（遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着）

1. 遊びや体験活動は、こども・若者の健やかな成長の原点である。例えば、こどもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていくことは、言語や数量等の感覚などの認知的スキルや、創造力や好奇心、自尊心、想像力や思いやり、やり抜く力、折り合いをつける力などの社会情動的スキルの双方を育むことに加え、多様な動きを身に付け、健康を維持することにつながり、ひいては、生涯にわたる幸せにつながる。こういった遊びや体験活動の重要性、学びへのつながりや、その機会を保障することの重要性を改めて認識した上で、国や地方公共団体、地域、学校・園、家庭、若者、民間団体、民間企業等が連携・協働して、こども・若者の全てのライフステージにおいて、年齢や発達の程度に応じて、自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・外遊びを含む様々な遊びができるよう、青少年教育施設の充実を含め、地域資源も生かした遊びや体験の機会や場を意図的・計画的に創出する。地域や成育環境によって体験活動の機会に格差が生じないように配慮する。

2 ライフステージ別の重要事項 (1) こどもの誕生前から幼児期までこどもの誕生前から幼児期までは、こどもの将来にわたるウェルビーイングの基礎を培い、人生の確かなスタートを切るための最も重要な時期であるとともに、この時期への社会的投資が次代の社会の在り方を大きく左右するため、社会全体にとっても極めて重要な時期である。また、乳幼児は多くの時間を家庭や地域の中で過ごし、幼稚園・保育所・認定こども園への就園状況も異なるなど、育ちの環境は多様である。その多様性を尊重しつつ、保護者・養育者の「子育て」を支えることだけでなく、「こどもの育ち」に係る質にも社会がしっかりと目を向け、保護者・養育者の就労・養育状況を含むこどもの置かれた環境等に十分に配慮しつつ、ひとしく、切れ目なく、ウェルビーイングの向上を図ることが重要である。乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得を通じて、一人一人のこどもが、かけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感をもって成長することができるようにしなければならない。



令和6年度子どもゆめ基金
「児童福祉施設や児童福祉施設で暮らす子どもが笑顔になる
自己肯定感向上のあそびの体験交流」
報告書

発行日 : 2024年 12月 15日

発行者 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

発行所 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号

TEL : 043-301-7262 FAX : 043-301-7263

メールアドレス : kidchiba@lily.ocn.ne.jp

 National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

令和6年度子どもゆめ基金助成事業報告書